

AWA BANK 2020

Mini-Disclosure

阿波銀行 ミニディスクロージャー誌 2020.3

第208期営業のご報告

2019年4月1日～2020年3月31日





2020年6月

代表取締役頭取 **長岡 奨**

行 是

堅実経営

1. 原理・原則に基づき、信用を重んじた経営を行います。
2. 良き伝統を守り、未来に挑戦する経営を行います。

経 営 方 針

信用の重視
地域への貢献
お客さま第一
人材の育成
進取の精神

ごあいさつ

皆さまには、平素より私ども阿波銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は、明治29年の創業以来培ってきた行是「堅実経営」を実践し、本年6月に創業124周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、株主さま、地域社会の皆さまからの永年にわたる温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、2019年度のわが国経済は、年度前半は、海外経済の減速などの影響から輸出・生産や企業の業況判断に弱めの動きが見られたものの、雇用・所得環境の着実な改善を背景に個人消費が底堅く推移するなど、景気の緩やかな拡大が続きました。しかしながら、秋口以降は消費税増税や自然災害の影響から内需が落ち込む中で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界経済の不透明感が高まり、輸出・生産が大きく減少したほか、インバウンド観光客の減少に加え、国内におけるイベントや外出自粛の動きなどから景気は急速に悪化しました。県内経済につきましても、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善により緩やかな回復が続いておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県内景気も一段と弱い動きとなりました。

この間、金融市場では、年末にかけて世界経済の回復期待が追い風となり株高が進行したものの、その後は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により世界的な株安・金利低下が急激に進行するなど不安定な動きが続きました。

このような環境変化のもと、当行は2018年4月から、「構造改革と永代取引の進化」を基本戦略とし、長期経営計画「As One」を展開しております。3年目にあたる当期におきましては、お客さまに寄り添い、きめ細やかな資金繰りのご相談やご支援に全力で取組むとともに、さらなる構造改革による生産性の向上に努めてまいります。そして、すべてのお客さまと世代を超えた息の永いお取引を継続し、持続的な発展に寄与していくという当行のビジネスモデル「永代取引」をさらに進化させる取組みを実践することで、新型コロナウイルス危機克服後の地域経済に貢献するとともに、地方創生の実現につなげてまいります。

また、昨年12月、本店営業部を新築移転オープンいたしました。新しい本店営業部は「地方創生・地域活性化への貢献」「お客さまを起点とした銀行サービスの品質向上」を基本コンセプトとし、建物の大半を占めるパブリックスペースを活かし、地域の人々の生活に組み込まれる「場」を提供することで、「サービスの方の変革」など新しい阿波銀行へと挑戦してまいります。

そして、これからも、お客さま一人ひとりに寄り添い、お客さま感動満足を創造するとともに、地域から愛され信頼される「強くて良い銀行」をめざして、当行グループ従業員が一丸となり取組んでまいります。よろしくお願いいたします。

皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

As One

～ 構造改革と永代取引の進化 ～

【計画期間】2018年4月～2023年3月

【ありたい姿】卓越した価値を提供し、地域とお客さまの「ベストパートナー」へ

CIS⇔ES
エンパワーメントの
発揮

お客さまの視点で
新たな価値創造
経営品質の再構築

四国アライアンス
地域活性化と
地方創生

構造改革と永代取引の進化

1. 永代取引の実践

包括的コンサルティング
営業の実践

ファミリーサポート
営業の実践

複合取引の強化

2. BPR(永代取引を支える基盤強化)

～店舗改革・事務改革・本部改革～

3. チャンネルの強化

～あわぎんハイブリッドチャンネルの実現～

4. グループ総合力の発揮

～ワンストップソリューションの実践と連結収益強化～

5. 人材育成

～永代取引を支える人材育成(長期人材育成計画の改定)～

RAF構築とガバナンス強化

As One(アズワン)

ひとつになって、一体となって

当行とお客さま・地域が一体となって、成長・発展をめざしていく
当行役職員が、ひとつになってお客さまに卓越した価値を創造していく

永代取引

強固な信頼関係のもと、世代を超えた息の永い取引を継続し、
社会やお客さまの永続的な発展に貢献する当行の伝統的営業方針

RAF(リスクアベタイト・フレームワーク)

取るべきリスクを明確化し、収益性と健全性の両立を図っていくという経営管理の枠組み

CIS(カスタマー・インプレッシブ・サティスファクション)

お客さま感動満足

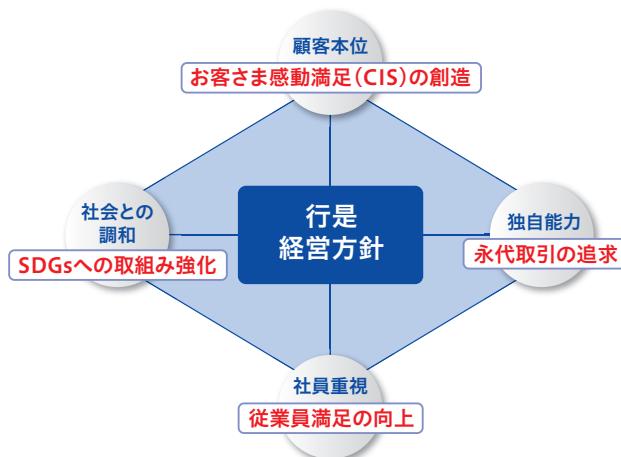
ES(エンプロイイー・サティスファクション)

従業員満足

SDGsへの取組み

国連で採択された「持続可能な開発目標 (SDGs)[※]」の趣旨に賛同し、その目標達成への取組みを通じて、持続可能な経済・社会・環境の実現をめざすため、「あわぎんSDGs取組方針」を制定しております。当行が経営品質向上活動の基本理念として実践している「お客さま感動満足の創造」「永代取引の追求」「従業員満足の上昇」「SDGsへの取組み強化」をさらに進化させ、当行の独自性と持続可能性の向上をめざしてまいります。

経営品質向上活動の「基本理念」



あわぎんSDGs取組方針

阿波銀行は持続可能な開発目標『SDGs』に賛同し、その目標達成に向け、社会の一員として主体的に取組んでまいります。

1. 地域経済発展と産業振興への取組み

当行の伝統的営業方針「永代取引」の実践による幅広い金融サービスの提供により、地域経済の発展と産業振興に貢献し、お客さまと地域の持続的な発展をめざします。

2. 魅力のある持続可能な地域社会の実現

さまざまな社会貢献活動や環境保全等の取組みを通じ、地域のすべての人が安心して生活できる持続可能な社会の実現をめざします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※「SDGs」:「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。2015年9月の国連サミットにおいて採択され、貧困や飢餓、経済成長、気候変動、といった世界が抱える課題を2030年までに解決することをめざしている。

あわぎんSDGs取組方針に基づく主な取組み

環境 (Environment)

- ◆環境方針の制定
- ◆あわぎんECOプロジェクト
- ◆アドプト・プログラム吉野川清掃活動「うちの土手」「分家うちの土手」
- ◆森づくりボランティア
- ◆ペーパーレス化の推進
- ◆環境関連融資
- ◆とくしま農山漁村応援隊への参加
- ◆ハブラシ回収プログラムへの参加
- ◆ECOカーの導入

ガバナンス (Governance)

- ◆内部統制システムの整備
- ◆コンプライアンス態勢の整備
- ◆コンプライアンス・プログラムの実行
- ◆リスク管理態勢の整備
- ◆緊急対応への取組み

社会 (Social)

- ◆消費者志向自主宣言
- ◆エンカル消費自主宣言
- ◆各種スポーツ大会の開催
- ◆公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団による助成
- ◆公益財団法人阿波銀福祉基金による助成
- ◆地域行事への積極的な参加
- ◆金融リテラシー向上に向けた取組み
- ◆「小さな親切」運動への積極的な取組み
- ◆とくしまマルシェへの協力
- ◆キャッシュレスの推進
- ◆永代取引の実践
- ◆本店営業部による新たな取組み
- ◆徳島県の資源を活用した店舗づくり
- ◆イクボス企業同盟への加盟
- ◆プラチナくるみん取得



環境 (Environment) 保護への取組み



|| あわぎんECOプロジェクト

徳島の豊かな自然を次世代に残すため、「あわぎんECOプロジェクト」と名づけたさまざまな地球環境保護活動を実施しています。



アドプト・プログラム吉野川清掃活動



森づくりボランティア

あわぎん
ECOプロジェクト

|| ペーパーレス化の推進

紙の通帳を発行しない「あわぎんai-mo通帳」を取扱っています。また、スマートフォンで気軽に口座の開設や入出金明細等の確認、および毎月の支出を自動的に分類・グラフ化する「おまかせ家計簿[※]」機能を備えた「あわぎんアプリ」も取扱っています。

※マネーフォワード社提供

あわぎんアプリ

iPhoneは
こちら



Androidは
こちら



|| SDGsに関連する制度融資

あわぎんSDGs私募債
(SDGsサポート型)実績
(2020年3月末現在)

10件
5.4 億円

あわぎん成長基盤
強化ファンド実績
(2020年3月末現在)

349件
293 億円

※環境負荷低減・耐震化等に関するもの

あわぎん太陽光発電
ローン実績
(2020年3月末現在)

1,669件
697 億円

2019年10月から、SDGsの目標達成に向け取り組んでいる法人のみなさまを支援するため、「あわぎんSDGs私募債 (SDGsサポート型)」を取扱っています。また、環境保護活動に積極的に取り組む法人や個人事業主のみなさまを支援し、地域の環境負荷低減に貢献するため、「あわぎん成長基盤強化ファンド」や「あわぎん太陽光発電ローン」を取扱っています。



|| 本店営業部を基点にした新たな取組み

2019年12月に本店営業部が新築移転オープンしました。新しい本店営業部は「地方創生・地域活性化への貢献」「お客さまを起点とした銀行サービスの品質向上」を基本コンセプトとし、パブリックスペースを設けるなど、新たな憩いの場として、またお客さまと徳島の豊かな未来に繋がる場として、多くのお客さまから愛され親しまれる存在となるよう努めてまいります。



「あらゆる世代のいつもの場所に」

大人から子どもまで誰でも自由に立ち寄ることができるパブリックスペースです。



History Space Room 124th
デジタルによる徳島県および阿波銀行に関する歴史資料展示スペース

ライブラリースペース
プロが選書した本・雑誌を読むことができる読書スペース



阿波銀プラザ
誰もが気軽に作品を展示できる無料ギャラリー

コワーキングスペース
誰でも自由に仕事・勉強ができるスペースでありセミナー等も開催



|| お客さま感動満足をめざして

当行では、お客さまの視点に立ち、卓越した価値を提供していく“お客さま感動満足”(CIS:Customer Impressive Satisfaction)をめざして、さまざまな取組みを行っています。



○コンセプトブック「あわぎんのおもい」発行

お客さまの視点で銀行業務を見直し、サービスのあり方について全職員が価値観を共有し、お客さま感動満足(CIS)と従業員満足(ES)を創造するため、コンセプトブック「あわぎんのおもい」を発行しました。「あわぎんのおもい」をヒントに、付加価値向上をめざしたダイアログ(対話)を各本店で実施しています。



お客さまご意見カード 08702

〒100-0001 東京都千代田区千代田2-1-1
 阿波銀行 総務課 庶務係
 お客さまサポートセンター

阿波銀行のサービスをお使いいただきありがとうございます。

お客さまの声を聞かせください

私たちのサービス、商品や内容、お取り扱いに、ご意見やご感想をお聞かせください。お聞かせいただいた内容は、必ずしも採用されるものではありません。

お名前 あり なし
 性別 男性 女性
 年齢 20代 30代 40代 50代以上
 職業 会社員 自営業 専業主婦 主婦 学生 その他

阿波銀行 0570-0000



○お客さまの声を聞かせください

当行では、お客さまとのあらゆる接点を大切にしたいと考えています。各店のロビーおよびキャッシュコーナーには、「お客さまご意見カード」を設置しておりますので、店舗づくりや業務、サービスの提供等について、お客さまの声を聞かせください。今後も、お客さまに寄り添い、CIS向上に向けたより質の高いサービスの提供に努めてまいります。

|| 「あわぎんキッズクラブ」の新設

お子さまの未来・好奇心を育む「楽しく学び遊べる場」として、18歳以下のお子さまを対象とした「あわぎんキッズクラブ」を新設しました。毎月さまざまなイベントを開催するほか、会員限定のお得なポイントサービスも実施しています。

「あわぎんキッズクラブ」に関する情報はあわぎん公式SNSでも発信しています。



[facebook]



[Twitter]

大型絵本の読み聞かせ



遊山箱絵付け体験



女性活躍推進に向けた取組み

働く女性の活躍の場を広げるため、2014年より女性活躍プロジェクト「AWA dONNA」活動を展開しており、より一層女性が活躍できる環境づくりや、女性ならではの商品・サービス企画などを行っています。また、妊娠中から職場復帰、子育て期の方に向けた研修や託児サービス、育児に関する情報提供を行う「ママWA dONNA」活動も展開しています。



地域活性化および未来を担う子どもたちの健やかな成長を応援

○“Future Design徳島” 絵画コンテストの開催

徳島県内在住・在学の小学生から大学・専門学校生を対象に、「徳島の未来」をテーマとした絵画コンテストを開催しました。応募された作品は本店営業部内にあるギャラリー「阿波銀プラザ」ですべて展示し、多くの方に足を運んでいただきました。



○各種スポーツ大会の開催

創業100周年記念事業として、1996年から当行および公益財団法人阿波銀行学術・文化振興財団が主催する各種スポーツ大会を開催しています。



○金融リテラシー向上に向けた取組み

当行職員による各種出前授業、「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」や全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」徳島大会の開催を通じて、子どもたちの金融リテラシー向上に取り組んでいます。

徳島大学発ベンチャー企業を支援するファンドへの出資

大学発ベンチャー企業の創業および経営支援を目的として、国立大学法人徳島大学、株式会社地域経済活性化支援機構 (REVIC) および一般社団法人大学支援機構との協力により、「産学連携1号投資事業有限責任組合」を設立いたしました。

REVICの特定専門家派遣を活用する枠組みにより、徳島大学発ベンチャーの創業支援・成長支援を行うことで、地域社会の発展に貢献してまいります。



TIB(徳島イノベーションベース)への参画

徳島県内の起業家や社会人、学生などアントレプレナーシップ(起業家精神)を持つ方々を先輩起業家らが育成・支援する「一般社団法人徳島イノベーションベース」(代表理事:藤田 恭嗣、以下「TIB」)を、当行をはじめ株式会社メディアドゥホールディングス、一般社団法人徳島新聞社、四国放送株式会社、および株式会社徳島大正銀行の5社共同で設立いたしました。

企業の成長・発展の起点となる「起業家」マインドを持った人材を育てるTIBの活動を通じ、徳島経済の発展、ひいては地域活性化に、積極的に取り組んでまいります。

四国アライアンスの取組み

四国地域の魅力を高め、地域・お客さまと四国の地方銀行4行(阿波銀行・百十四銀行・伊予銀行・四国銀行)が持続的に成長・発展を遂げるため、引続き、健全な競争環境を維持しつつ「興す」「活かす」「繋げる」「育む」とこれらを支える「協働する」の5つのテーマに取り組んでいます。

それぞれが持つネットワークを活用し、ヒト・モノ・カネ・情報に関するあらゆるニーズにお応えすることで企業価値向上につながってまいります。



○地域商社「Shikokuブランド株式会社」を設立



Shikokuブランド株式会社

2020年4月、4行の共同出資により、地域産品のブランディングおよび販路開拓を行う「Shikokuブランド株式会社」(地域商社事業を営む銀行業高度化等会社)を設立しました。国内外に四国の魅力を発信することで、新たな付加価値創出につながる経済の好循環をめざしてまいります。

緊急対応への取組み

新型コロナウイルス感染症への対応について

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、当行では、お客さまおよび職員の健康・安全を確保しつつ、社会機能の維持に不可欠な金融インフラを継続するため、さまざまな感染予防ならびに対応策を実施しています。

○「あわぎん緊急特別融資(新型コロナウイルス感染症対応)」の取扱い

事業活動に影響を受けている方々に対し、全店で「あわぎん緊急特別融資(新型コロナウイルス感染症対応)」の取扱いを開始しました。原則、無担保・無保証人で、かつ期間最長15年(運転資金・設備資金)で取扱いしており、お客さまの状況に応じて臨機応変に対応することが可能です。また「あわぎん緊急特別融資(新型コロナウイルス感染症対応)」以外にも、お客さまの状況に応じたさまざまな対応を行っており、多様なニーズに迅速に対応することで事業活動の早期回復を支援しています。

「あわぎん緊急特別融資(新型コロナウイルス感染症対応)」

期 間	15年以内(据置期間3年以内) ※手形貸付の場合は1年以内
資金使途	運転資金・設備資金
融資科目	手形貸付・証書貸付
融資金額	100百万円以内
担 保	原則不要(融資金額50百万円以内)
保 証 人	原則不要(融資金額50百万円以内)

○「休日金融相談窓口」および「休日金融相談店舗」の設置

本店営業部とあわぎん相談プラザには、平日に加え「休日金融相談窓口」を設置しました。また、「緊急事態宣言」の発令に伴い、2020年4月から5月までの間、一部の店舗において、休日の電話相談にお応えできる「休日金融相談店舗」を設置し、みなさまからのご相談に迅速かつきめ細かくに対応できる態勢を整えました。



○業務継続態勢の強化

お客さまに安心してご利用いただき、職員も安心して働ける環境を整えるために、店舗内の消毒や換気、検温の実施、防護服や非常食の備蓄等を行っています。また、緊急対策本部の設置や災害対策マニュアルの改訂も行い、金融インフラを維持するための業務継続態勢を強化しました。



検温の実施



ATMの消毒



非常食等の備蓄

みなさまに安心してご利用いただくために

当行の金融サービスをお客さまに安心・便利にご利用いただくために、インターネットバンキングの機能拡充に努めています。口座開設、お振込み、お振替えや預金残高照会等に関しては、ai-mo(あわぎんインターネットモバイルバンキング)での取扱いが可能であり、また「あわぎんアプリ」をご利用いただくことで、生体認証によるai-moへの安全なログインが可能です。今後も、お客さまの利便性向上と安心安全なサービスの確立の両立をめざし、緊急時の対応力強化をより一層努めてまいります。

大規模災害等発生時への対応について

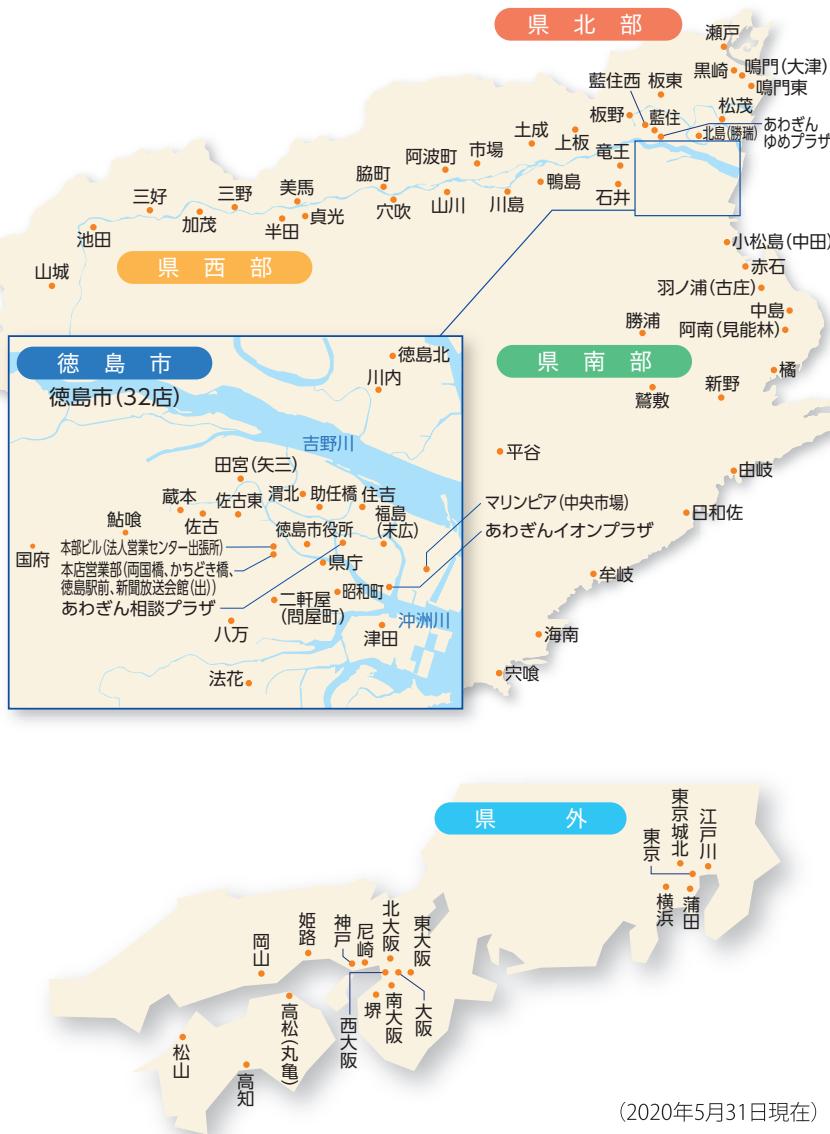
預金の払出しや資金決済など金融機能を維持できるよう危機管理態勢、業務継続態勢の強化を進めています。災害時に迅速にお客さまへ金融サービスを提供できるよう今後も訓練を重ねるほか、移動店舗「あわぎん号」の被災地での円滑な活用や地方公共団体等との連携を強化してまいります。



移動店舗「あわぎん号」

店舗ネットワーク

- 店舗 101店舗 [徳島県内82店舗/県外19店舗] ※ ()内は店舗内店舗
 ■CD・ATM 192カ所 (コンビニやゆうちょ銀行、イオン銀行でもご利用可能。
 四国の地方銀行4行間での他行ATM利用手数料を無料化。)



(2020年5月31日現在)

休日もご利用いただけます

あわぎんお客さまサポートセンター

各種商品・サービスについてのご照会・ご相談など
サンキュー ハローバンク

☎0120-39-8689

受付時間 月～金:午前9時～午後5時(祝日は除く)

※年末年始・GWなど所定の休業日を除く。

本店営業部

各種保険や個人向けローンなど、ライフプラン全般に関するご相談からお申込み

平日 TEL.088-623-3131

土・日・祝日 TEL.088-623-2330

受付時間 平日・土・日・祝日:午前9時～午後5時

※年末年始など所定の休業日を除く。

あわぎんゆめプラザ(ゆめプラザ出張所)

TEL.088-692-8899

受付時間 平日・土・日・祝日:午前10時～午後6時

※相続の手続きはご予約が必要。
※ゆめタウンの休業日、年末年始など所定の休業日を除く。

あわぎんイオンプラザ(イオンプラザ出張所)

TEL.088-602-7371

受付時間 平日:午前11時～午後7時

土・日・祝日:午前10時～午後6時

※イオンモール徳島の休業日、年末年始などの所定の休業日を除く。

あわぎん相談プラザ

※本店営業部新築移転に伴い、旧福島支店にて営業しております

あわぎんローンプラザ

住宅ローンなど各種ローンのご相談からお申込み

☎0120-106-023

受付時間 平日:午前9時～午後5時

土・日・祝日:午前10時～午後5時

ローンプラザ小松島(小松島支店内)

ローンプラザ北島(北島支店内)

(営業時間 月～金曜日:午前9時～午後3時
日曜日:午前10時～午後5時)

あわぎん証券・保険プラザ

(旧福島支店・鳴門支店・鳴門東支店)

保険・年金等ライフプラン全般のご相談からお申込み
株式売買のご注文受付やご相談

☎0120-8388-05

受付時間 平日のみ:午前9時～午後3時

※資産運用・年金のご相談はご予約が必要。

※年末年始・GWなど所定の休業日を除く。

あわぎんダイレクトバンキングセンター

個人向けローンに関するご相談

☎0120-810-172

受付時間 月～金:午前10時～午後6時(祝日は除く)

※年末年始・GWなど所定の休業日を除く。

ai-mo(個人向けあわぎんインターネット・モバイルバンキング)

◎24時間365日インターネットを通じて残高照会、お振込み・お振替などのサービスがご利用可能。

◎外貨預金や投資信託および国庫金等の払込みができる料金払込サービス(Pay-easy(ペイジー))もご利用可能。

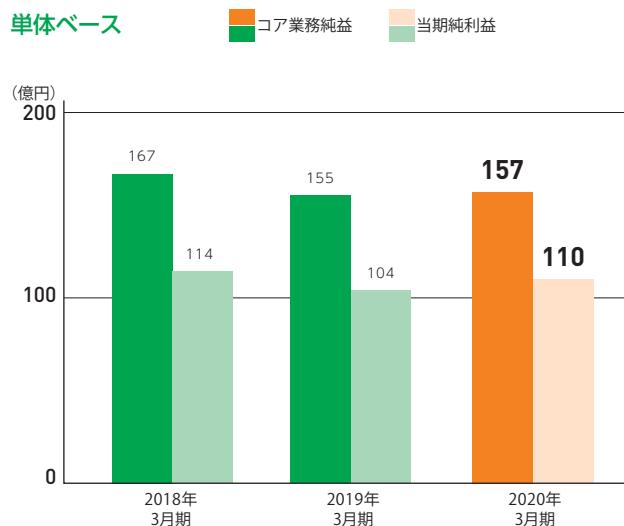
収益の状況

コア業務純益、経常利益、当期純利益はそれぞれ以下のとおり推移しています。

業績の推移

●コア業務純益は、資金利益や役員取引等利益の増益により、前年度比2億円増益の157億円となりました。また、経常利益および当期純利益は、それぞれ同1億円増益の150億円、同5億円増益の110億円となりました。

単体ベース



(単位:億円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
コア業務純益	167	155	157
経常利益	180	149	150
当期純利益	114	104	110

(単位:%)

コア業務純益ROA	0.52	0.47	0.47
当期純利益ROE	4.41	3.98	4.35
修正OHR	61.14	62.47	62.97

用語解説

コア業務純益 (P.11)

預金や貸出金など、銀行の本来業務からの利益を表す指標です。

ROA (リターン・オン・アセット:総資産利益率) (P.11)

資産をどの程度効率的に活用して利益をあげているかを表す指標であり、数値が高いほど効率的に利益をあげていることを表しています。

・コア業務純益ROA=コア業務純益÷総資産期首・期末平均

実質と信費用 (P.12)

不良債権処理に係る費用で、不良債権処理額と一般貸倒引当金繰入額を合計し、償却債権取立益等を控除したものです。

ROE (リターン・オン・エクイティー:自己資本利益率) (P.11)

自己資本をどの程度効率的に活用して利益をあげているかを表す指標であり、数値が高いほど効率的に利益をあげていることを表しています。

・当期純利益ROE=当期純利益÷純資産期首・期末平均

OHR (オーバー・ヘッド・レシオ:業務粗利益経費率) (P.11)

一定の利益をあげるために、どれだけの経費がかかっているかを表す指標であり、数値が低いほど経費がかかっていないことを表しています。

・修正OHR=経費÷修正業務粗利益(業務粗利益-国債等債券関係損益)

リスク管理債権比率 (P.12)

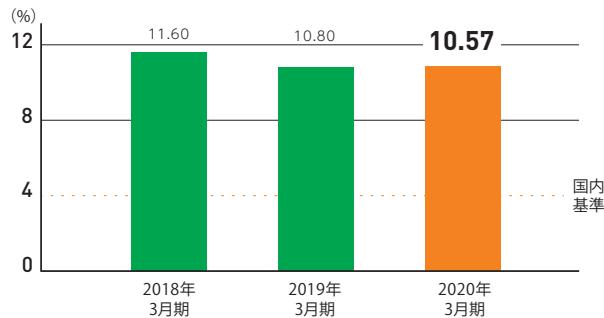
貸出金の中に占める不良債権の割合を示す指標です。銀行法に基づき算出しています。

財務体質は高い健全性を維持しており、十分な経営体力を確保しています。

自己資本比率(連結)

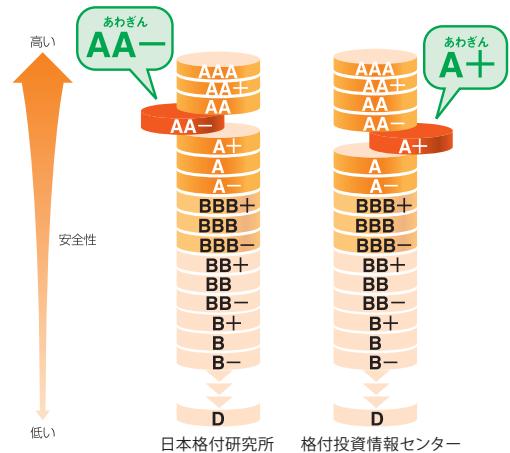
- 銀行の安全性・健全性を表す自己資本比率は、10.57%と引き続き高い水準を維持しています。

自己資本比率



格付け (2020年5月31日現在)

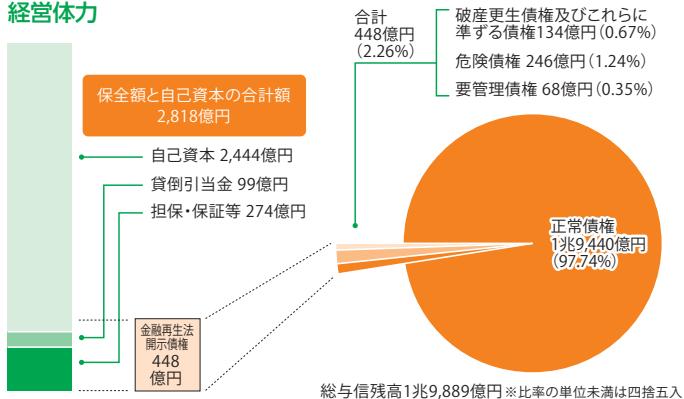
- 銀行の安全性・信用度を示す格付けは、日本格付研究所 (JCR) から「AA-」、格付投資情報センター (R&I) から「A+」を取得しており、当行の経営の安全性は高く評価されています。



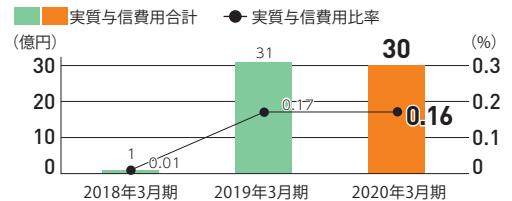
資産の状況

適切な債権管理を実施し、十分な経営体力を確保しています。

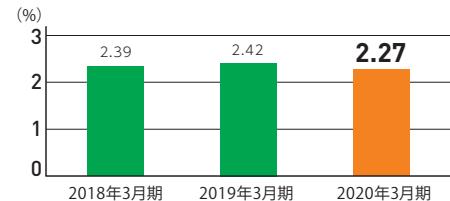
経営体力



実質与信費用



リスク管理債権比率



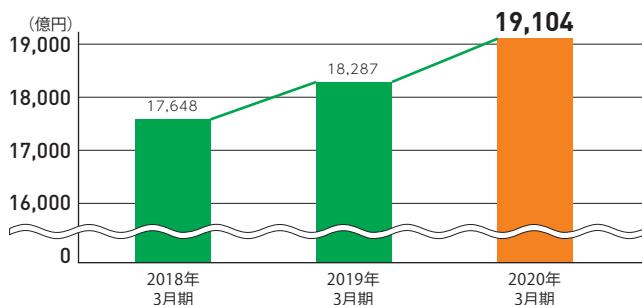
貸出金の状況

地域経済のさらなる発展に向けてお客さまの資金ニーズに積極的に対応しています。

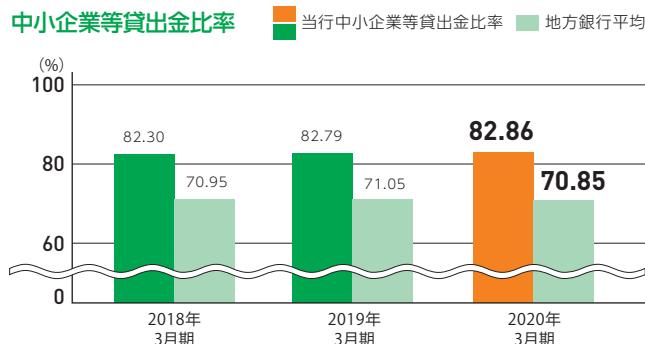
貸出金の推移

- 貸出金(平均残高)は、事業性評価に基づく主力の中小企業向け貸出金の増強に取組んだ結果、前年度比816億円増加し、1兆9,104億円になりました。
- 中小企業等貸出金比率は82.86%と、引続き高い水準を維持しています。

貸出金(平均残高)



中小企業等貸出金比率

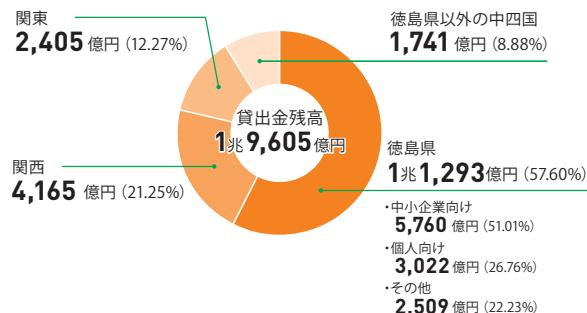


(注1) 地方銀行平均は、全国地方銀行協会会員各銀行の数値を単純平均しています。
 (注2) 地方銀行平均の2020年3月期は、2019年9月期の数値を使用しています。

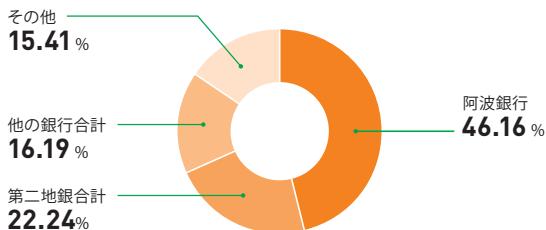
地域における貸出金の状況

- 徳島県をはじめ、地域の中小企業を中心にご融資を行っています。
- 徳島県内の融資シェアは46.16%と引続き高いシェアを占めています。

地域別内訳(2020年3月末残高)



徳島県内シェア(2019年9月末残高)



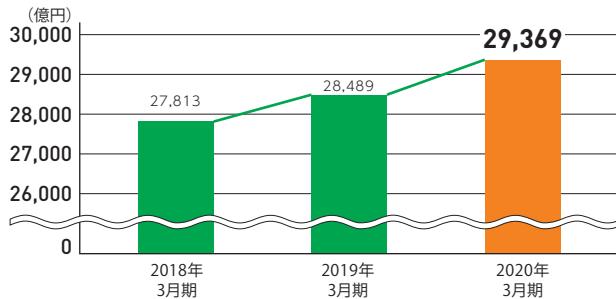
預金等の状況

地域のみなさまの暮らしをサポートするため、多様化するニーズにきめ細かくお応えしています。

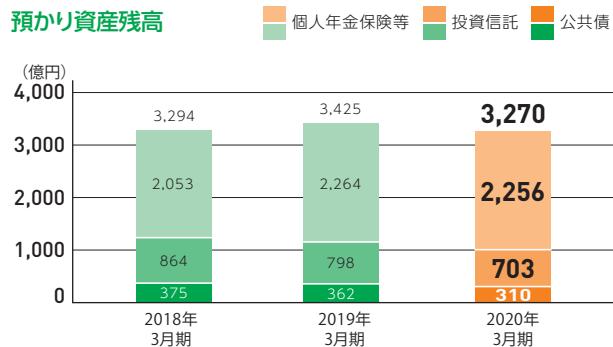
預金等の推移

- 譲渡性預金を含む総預金残高(平均残高)は個人預金、法人預金
が順調に推移したことから、前年度比880億円増加し、2兆9,369
億円となりました。
- 公共債・投資信託および個人年金保険等の期末残高を合計した
預かり資産残高は同155億円減少し、3,270億円となりました。

預金・譲渡性預金(平均残高)



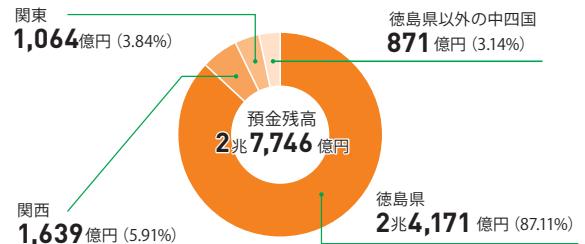
預かり資産残高



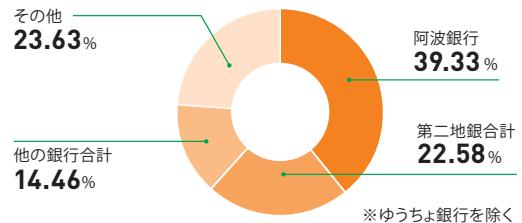
地域における預金の状況

- 徳島県のお客さまからお預かりしている預金は、預金全体の
87.11%を占めています。
- 徳島県内の預金シェアは39.33%と引続き高いシェアを占めて
います。

地域別内訳(2020年3月末残高)



徳島県内シェア(2019年9月末残高)



連結貸借対照表

(2020年3月31日現在)

科 目		金 額	科 目		金 額
[資産の部]			[負債の部]		
現金預け金	287,164	預金	2,771,127		
コールローン及び買入手形	2,151	譲渡性預金	175,149		
買入金銭債権	1,149	コールマネー及び売渡手形	20,024		
商品有価証券	917	債券貸借取引受入担保金	58,470		
有価証券	995,428	借入金	53,610		
貸出金	1,962,862	外国為替	83		
外国為替	11,070	その他負債	25,493		
リース債権及びリース投資資産	28,802	賞与引当金	22		
その他資産	47,308	役員賞与引当金	53		
有形固定資産	37,396	退職給付に係る負債	505		
建物	13,683	役員退職慰労引当金	10		
土地	21,120	株式報酬引当金	139		
リース資産	84	睡眠預金払戻損失引当金	427		
建設仮勘定	7	偶発損失引当金	1,043		
その他の有形固定資産	2,501	繰延税金負債	6,515		
無形固定資産	5,164	再評価に係る繰延税金負債	2,730		
ソフトウェア	5,055	支払承諾	8,437		
その他の無形固定資産	109	負債の部合計	3,123,847		
退職給付に係る資産	5,261	[純資産の部]			
繰延税金資産	269	資本金	23,452		
支払承諾見返	8,437	資本剰余金	20,106		
貸倒引当金	△17,174	利益剰余金	169,299		
		自己株式	△2,892		
		株主資本合計	209,966		
		その他有価証券評価差額金	40,516		
		繰延ヘッジ損益	△2,479		
		土地再評価差額金	5,184		
		退職給付に係る調整累計額	△824		
		その他の包括利益累計額合計	42,396		
		純資産の部合計	252,362		
資産の部合計	3,376,210	負債及び純資産の部合計	3,376,210		

主要な経営指標等

(単位未満は切り捨て(除くリスク管理債権比率))

連結	当連結会計年度	単体	当事業年度
1株当たり純資産額	5,981円43銭	1株当たり純資産額	5,794円59銭
1株当たり当期純利益金額*	261円80銭	1株当たり当期純利益金額	258円47銭
リスク管理債権額	455億円	リスク管理債権額	444億円
リスク管理債権比率	2.29%	(破綻先債権額 24億円) (延滞債権額 351億円) (3か月以上延滞債権額 3億円) (貸出条件緩和債権額 64億円)	
自己資本比率	10.57%	リスク管理債権比率	2.27%
		自己資本比率	10.25%

*1株当たり当期純利益金額は、親会社株主に帰属する当期純利益にて算出しております。

連結損益計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
経常収益	67,374
資金運用収益	38,939
貸出金利息	23,603
有価証券利息配当金	15,091
コールローン利息及び買入手形利息	87
預け金利息	145
その他の受入利息	10
信託報酬	3
役務取引等収益	8,775
その他業務収益	15,442
その他経常収益	4,214
償却債権取立益	780
その他の経常収益	3,433
経常費用	51,645
資金調達費用	4,179
預金利息	958
譲渡性預金利息	46
コールマネー利息及び売渡手形利息	304
債券貸借取引支払利息	572
借入金利息	29
その他の支払利息	2,267
役務取引等費用	1,220
その他業務費用	12,770
営業経費	28,005
その他経常費用	5,468
貸倒引当金繰入額	3,915
その他の経常費用	1,552
経常利益	15,729
特別利益	32
固定資産処分益	32
特別損失	103
固定資産処分損	53
減損損失	50
税金等調整前当期純利益	15,658
法人税、住民税及び事業税	4,593
法人税等調整額	△105
法人税等合計	4,487
当期純利益	11,170
非支配株主に帰属する当期純利益	9
親会社株主に帰属する当期純利益	11,160

用語解説

経常収益

資金運用収益や役務取引等収益など、通常業務で発生する収益を表しています。

経常費用

通常業務で発生する費用を表しています。

経常利益

経常収益から経常費用を引いた利益で、通常業務での利益を表しています。

親会社株主に帰属する当期純利益

連結の当期純利益のうち、親会社株主に帰属する部分を表しています。

第208期末貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
[資産の部]		[負債の部]	
現金預け金	287,159	預金	2,774,631
現金	37,514	当座預金	126,611
預け金	249,644	普通預金	1,535,278
コールローン	2,151	貯蓄預金	30,108
買入金銭債権	1,149	通知預金	8,376
商品有価証券	917	定期預金	964,893
商品国債	224	定期積金	7,462
商品地方債	693	その他の預金	101,901
有価証券	1,005,581	譲渡性預金	179,149
国債	241,208	コールマネー	20,024
地方債	186,898	債券貸借取引受入担保金	58,470
社債	133,803	借入金	42,073
株式	118,677	借入金	42,073
その他の証券	324,992	外国為替	83
貸出金	1,960,547	売渡外国為替	79
割引手形	10,375	未払外国為替	3
手形貸付	127,694	その他負債	17,687
証書貸付	1,735,376	未決済為替借	0
当座貸越	87,100	未払法人税等	1,447
外国為替	11,070	未払費用	838
外国他店預け	10,866	前受収益	1,240
買入外国為替	63	給付補填備金	0
取立外国為替	140	金融派生商品	7,911
その他資産	45,265	金融商品等受入担保金	3,755
未収収益	2,732	リース債務	301
金融派生商品	4,818	資産除去債務	111
金融商品等差入担保金	4,756	その他の負債	2,079
その他の資産	32,957	役員賞与引当金	53
有形固定資産	36,933	株式報酬引当金	139
建物	13,643	睡眠預金払戻損失引当金	427
土地	21,102	偶発損失引当金	1,043
リース資産	279	繰延税金負債	6,451
建設仮勘定	7	再評価に係る繰延税金負債	2,730
その他の有形固定資産	1,900	支払承諾	8,437
無形固定資産	5,078	負債の部合計	3,111,405
ソフトウェア	4,974	[純資産の部]	
その他の無形固定資産	104	資本金	23,452
前払年金費用	5,967	資本剰余金	16,232
支払承諾見返	8,437	資本準備金	16,232
貸倒引当金	△ 14,374	利益剰余金	164,352
		利益準備金	14,064
		その他利益剰余金	150,288
		固定資産圧縮積立金	557
		株式消却積立金	2,995
		別途積立金	129,520
		繰越利益剰余金	17,215
		自己株式	△ 2,892
		株主資本合計	201,145
		その他有価証券評価差額金	40,628
		繰延ヘッジ損益	△ 2,479
		土地再評価差額金	5,184
		評価・換算差額等合計	43,333
		純資産の部合計	244,479
資産の部合計	3,355,885	負債及び純資産の部合計	3,355,885

第208期損益計算書

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

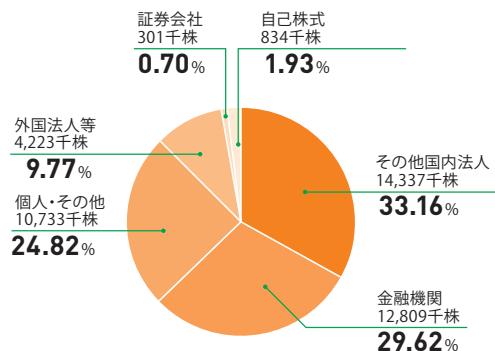
科目	金額
経常収益	52,251
資金運用収益	39,877
貸出金利息	23,604
有価証券利息配当金	16,029
コールローン利息	87
預け金利息	144
その他の受入利息	10
信託報酬	3
役員取引等収益	7,411
受入為替手数料	1,632
その他の役員収益	5,778
その他業務収益	1,160
外国為替売買益	498
国債等債券売却益	445
国債等債券償還益	60
金融派生商品収益	1
その他の業務収益	155
その他経常収益	3,798
償却債権取立益	778
株式等売却益	2,910
金銭的信託運用益	0
その他の経常収益	109
経常費用	37,174
資金調達費用	4,150
預金利息	958
譲渡性預金利息	47
コールマネー利息	304
債券貸借取引支払利息	572
借入金利息	0
金利スワップ支払利息	2,109
その他の支払利息	157
役員取引等費用	1,172
支払為替手数料	379
その他の役員費用	792
その他業務費用	101
商品有価証券売買損	4
国債等債券売却損	96
営業経費	26,607
その他経常費用	5,142
貸倒引当金繰入額	3,611
貸出金償却	17
株式等売却損	823
株式等償却	185
その他の経常費用	504
経常利益	15,076
特別利益	74
固定資産処分益	32
抱合せ株式消滅差益	42
特別損失	102
固定資産処分損	52
減損損失	50
税引前当期純利益	15,049
法人税、住民税及び事業税	4,007
法人税等調整額	23
法人税等合計	4,030
当期純利益	11,018

株主の状況

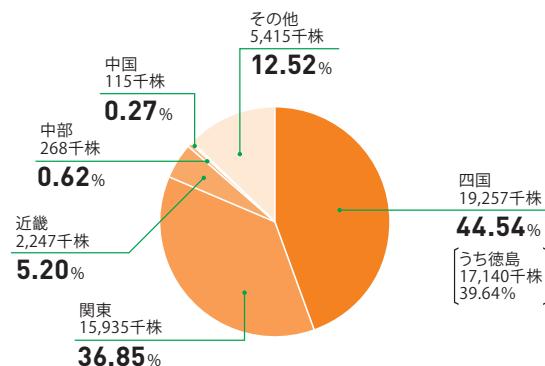
■発行済株式の総数 / 43,240千株 ■株主数 / 11,035名

(2020年3月31日現在)

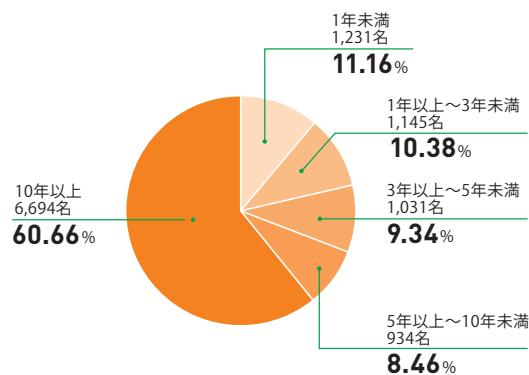
所有者別内訳



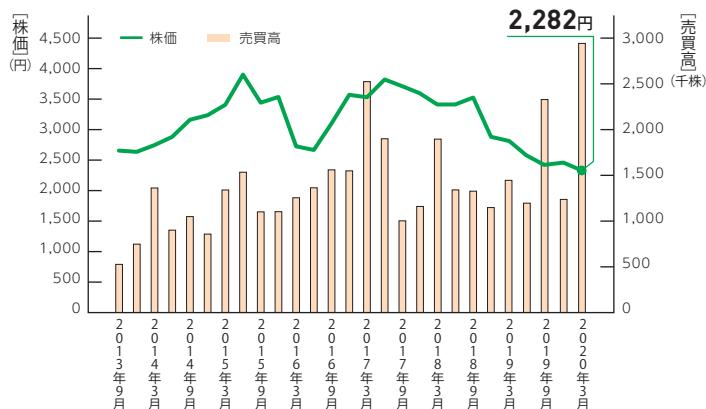
地域別内訳



保有期限別内訳



当行株価と売買高の推移 (2020年3月末)



※2018年9月30日以前については株式併合勘案後を記載

配当

年間配当は1株につき45円(中間配当22円50銭、期末配当22円50銭)としました。

株主優待

保有株式数100株以上200株未満の株主さまには、徳島県特産の藍製品をお届けいたします。また、200株以上の株主さまには、地元徳島県の特産品を中心に掲載しましたカタログ(6月発送予定)から、保有株式数に応じてお好みの商品をお選びいただけます。

自己株式の取得

資本効率の向上により、株式価値を高めるため、2020年2～3月に合計420千株、9億52百万円の自己株式を取得しました。

当行の概要（株式のご案内）

■ 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
期末配当金	3月31日現在の株主に対し、お支払いいたします。
中間配当金	中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対し、お支払いいたします。
定時株主総会の基準日	毎年3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
〔郵便物送付先〕 お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。 当行ホームページアドレス http://www.awabank.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、徳島新聞および日本経済新聞に掲載いたします。

各種手続のお申出先

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 配当金受取方法の指定、単元未満株式の買取・買増、住所変更等証券会社等をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申出ください。証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座での手続用紙のご請求はインターネットでも受付いたしております。

日本証券代行株式会社ホームページアドレス

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

■ 役員

(2020年3月31日現在)

取締役会長	おかだ よしふみ 岡田 好史
代表取締役頭取	ながおか すずむ 長岡 奨
代表取締役副頭取	おおにし やすお 大西 康生
専務取締役	ふくなが たけひさ 福永 丈久
常務取締役	みよし としゆき 三好 敏之
取締役常務執行役員管理本部長	やまと しろう 大和 史郎
取締役常務執行役員大阪支店長	みうら あつり 三浦 淳典
取締役経営統括部長	にし ひろかず 西 大和
取締役監査等委員	かいで たかお 海出 隆夫
取締役監査等委員	すみとも やすひこ 住友 康彦
社外取締役監査等委員	そのき ひろし 園木 宏
社外取締役監査等委員	よねばやし あきら 米林 彰
社外取締役監査等委員	あらき こうじろう 荒木 光二郎
社外取締役監査等委員	ふじい ひろし 藤井 宏史
社外取締役監査等委員	のだ せいこ 野田 聖子
常務執行役員 (本店営業部長)	いしちと ひろし 石本 宏
執行役員 (阿南支店長兼見能林支店長)	やました まさひろ 山下 真弘
執行役員 (備前支店長兼大津支店長)	てらにし とおる 寺西 徹
執行役員 (東京支店長)	いとう てるあき 伊藤 輝明
執行役員 (監査部長)	はまお かつや 浜尾 克也

発行/2020年6月

株式会社阿波銀行 経営統括部

〒770-8601 徳島市西船場町二丁目24番地の1

TEL.088-623-3131(代表)

当行の概要

(2020年3月31日現在)

創業	明治29年6月21日
本店所在地	徳島市西船場町二丁目24番地の1
資本金	234億円
店舗数	101店舗 (徳島県内82店舗、県外19店舗)
従業員数	1,331人
格付け	AA-(JCR) A+(R&I)



この印刷物は環境保護を目的とし
植物油インキを使用しています。